

スマイル通信

# いつもありがとう

2022年1月1日号・No.46

## Contents

ご挨拶

大人のためのお客様プレミアムツアー  
カタシモワイナリー探訪 開催報告

ウェイグッドは  
SHIGA SMILE BABY PROJECTに協賛しています

マネカレ お金を味方に、ミライのあなたへ。

お客様限定 オンライン座談会

お客様インタビュー  
ウェイグッドと大切なお客様 vol.10

ウェイグッドお客様限定  
2021年秋のセミナー 開催報告

マネートピックス  
「18歳から“大人”に！何が変わる？」

絵：FP野崎母

# ご挨拶



皆様 明けましておめでとうございます

2021年も新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が出ていない「普通の日」はほぼなかったですね。その中で開催された東京オリンピック、パラリンピック。あっという間に駆け抜けた約1ヶ月間でした。

魅せた「スポーツの力」は、コロナ禍の日本に、世界に感動を与えました。白熱の展開の数々に、普段はスポーツを見る機会が少ない人もテレビの前にくぎ付けになったのではないのでしょうか？

プレーだけではなく試合を終えた選手たちがロクに発した「感謝」の二文字に、私は何度も胸が熱くなりました。世界がコロナ禍と戦う中での大会。今回ほど「感謝」という言葉を聞いた五輪はなかったと思います。

この5年間限界に挑み苦闘を勝ち越えたアスリートが思いを伝えた相手は、家族や友人、練習パートナー、ライバル、恩師など、接する人々だけでなく、大会実現を陰で支えた全ての人たちでした。海外の選手たちも、ボランティアの方々の応援やいつも丁寧なあいさつと笑顔で出迎えてもらったことに感動したと語っていました。

勝負事だから勝った喜び負けた悔しさはもちろんありますが、それ以上に選手たちから感謝の言葉をたくさん聞いたのは、今までは当たり前だった五輪が当たり前ではなくなったからこそ、改めて思い知った心からの謝辞だったように思います。

感謝は新たな感謝を生みます。

ウェイグッドもオリンピックに見習い、当たり前の生活に感謝し、この“感謝の連鎖”を広められるように努力してまいります。「平和な社会」「安穏な世界」を築く力になればと思います。

このような急激な変化の中だからこそ、弊社社員が一丸となって創意工夫し、「あしたをつくろう！」を合言葉に更に質の高いサービスを提供してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 感謝

株式会社ウェイグッド  
代表取締役 古東 裕康

動画  
▼新年のご挨拶



# お客様インタビュー



と大切なお客様 vol.10

弊社ファイナンシャルプランナーとおお客様をご紹介しますコーナー。

第10回はFP岩城輝和の大切なお客様。京都市にお住まいの会社員、46歳のさわやかな女性です。3年前がんに罹患され、給付金をお支払いしました。



(京都市在住 N様 46歳)

**岩城:** 本日はお仕事終わりでお疲れのところ、お時間をいただきありがとうございます。今はどうしてお元気にされていますが、がんとお聞きした時は言葉が出ませんでした。

**お客様:** 私もビックリしました。正直、死も意識しました。治るのかな？ 仕事続けられるのかな？ これからの生活どうなるのかな？ って。でも、しっかりとした保険に入っていたので、お金の不安はありませんでした。

**岩城:** そう言えば、がんと診断される半年程前に保険の見直しをしたところでしたね。なぜ見直しそうと思われたのですか。

**お客様:** 当時既に保険には入っていたのですが、本当にこれでいいのか、私に合っているのかわからなかったんです。それと、今2人に1人ががんになると言われている中、もっとがんの保障を手厚くしておいたほうがいいかなと思ったんです。

**岩城:** お申し込みの時、保険料割り増しの条件が付いてしまいましたが、保障を減らして保険料を下げたり、申し込みを見送りしたりせず、割り増し条件を承諾されました。

**お客様:** そうでした。岩城さんからのがんや働けなくなったときのお話に納得して、私にはその保障が

必要だと思ったからです。実際には1ヶ月ぐらいで治療を終えたので、そんなに治療費は掛かりませんでした。大きな給付金を受け取って助かりました。

**岩城:** 皆さんへお伝えしたいことはありますか？

**お客様:** 自分がいつ病気になったり、亡くなったりするかはわかりませんが、そうなった時に自分や家族が困らないように備えておくことは大切です。入った時は良くても、ライフサイクルによって環境や状況は変わりますので、定期的なライフプランの見直しは必要だと感じました。ウェイグッドさんと出会えて本当にありがたいと思っています。

**岩城:** ありがとうございます。これからも年に1回の定期面談を行ってまいりましょう。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

保険は形がなく、合っているのか試すこともできません。入ったから安心ではなく、状況に応じて見直すことも必要です。まずは保障内容や目的を私達と一緒に確認していきましょう。 (岩城輝和)



あしたをつくろう! 委員会プレゼンツ  
大人のためのお客様プレミアムツアー

## カタシモワイナリー探訪 開催報告



爽やかな秋晴れの中、お客様プレミアムツアー「カタシモワイナリー探訪 古民家DEランチ」を10月2日に開催いたしました。カタシモワイナリーの高井社長によるワインの歴史や、世界と日本のワイン事情など熱いお話を聞かせていただき、歴史ある工場を見学。そして、ぶどう畑へ! ワインになる前のぶどうや、これからの気候変動を見据えたぶどうを試食。中には貴腐といって見た目は腐りかけですが味は…超絶甘い! ぶどうも。これはぶどう狩りですか?と思うくらい多くのぶどうを全員で味わいました。その後は町を散策。ぶどうと長年関わってきたからこそその特徴がいたる所に感じられました。



たくさん散策した後はお待ちかねのランチとワインの試飲です。ぶどうの種類によって味わいの違うワインに感動と驚き!! フレンチのお弁当型ランチとワインとのマリアージュは格別です。お酒も入って参加者の皆さんと温かな一体感に包まれるツアーとなりました。

大変ご好評いただいておりますプレミアムツアー。新しい趣味や興味との出会いになるかも!? 今後も続々と企画予定です。是非ご参加ください♪ (野崎泰子)



◀「カタシモワイナリー探訪」の動画



SHIGA SMILE BABY PROJECT  
は **ありがとうの贈りもの** に協賛しています

滋賀県では、生まれた赤ちゃん、産み育ててくださる御家族の皆さんに、「おめでとう」「ありがとう」の思いを込めて、「ありがとうの贈りもの」をお届けするプロジェクトがスタート。ウェイグッドも趣旨に賛同し協賛。協賛品として下記の『やっ と きっ と』絵本をお届けしております!



しがっこパスポート(子育てリーフレット)、近江米、滋賀ならではの祝い品や企業協賛品(おしりふき、おむつなど)などをかばんに入れてお届け。



◀絵本の読み聞かせ動画



～弊社からのメッセージ～

滋賀で生まれてきてくれた子どもたちが、  
いつも笑顔で過ごせますように。  
子どもたちひとりひとりの素敵な夢や希望が叶いますように。  
明るく楽しい未来のために、  
私たちはいつも今できることを一緒に考えていきたいと思っています。

株式会社ウェイグッド



お金を味方に、ミライのあなたへ。

ウェイグッドで取り扱っているPWM日本証券株式会社がこの度新しいサイトを設立！！  
コラムやインタビュー、気になる経済や投資にまつわる話題をピックアップしてお届けしています。投資や運用について気になる方は要チェックですよ！

マネカレ



<https://manekare.pwm.co.jp/>



金融商品仲介業者の商号：株式会社ウェイグッド  
登録番号：近畿財務局長（金仲）第210号  
所属金融商品取引業者：PWM日本証券株式会社  
登録番号：関東財務局長（金商）第50号  
加入協会：日本証券業協会、  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

※各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書等をよくお読み下さい。

承認番号：211203-1

## お客様限定 オンライン座談会



2021年にスタートしたオンライン座談会。

昨年は10回開催いたしました！！ 交流を含めた双方向形式とミニセミナー形式で、回を増すごとに参加者も増加。今後も LINEにて告知いたしますので気になるテーマがあったら是非ご参加ください♪

なお、2022年1月22日(土) 開催のオンライン座談会は

弊社社長 古東が登壇  
します。乞うご期待！

(野崎泰子)



オンライン座談会へのご参加には  
お客様専用LINEの登録が必要です  
@672oeguy



### ～ お客様の声 ～

- ・ 今後も今回のような生の情報を教えていただける企画を楽しみにしております。
- ・ とても参考になりました。またいろいろ勉強させてください。
- ・ 今回も素晴らしい時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・ 今後もこのような座談会をたくさん開催してほしいです。

beginning to get very tired of sitting by her sister on the bank, and of  
hing to do: once or twice she had peeped into the book her sister was  
ut it had no pictures or conversations in it, 'and what is the use of a  
ight Alice 'without pictures or conversation?'  
s considering in her own mind (as well as she could, for the hot day  
feel very sleepy and stupid), whether the pleasure of making a

In would be worth  
only a White Rabbit  
nothing so VERY  
of the way to hear  
when she thought  
ave wondered at th  
Rabbit actually TOOK  
It, and then hurried  
l that she had i  
-pocket, or a watch  
the field after it, i  
-hole under the  
moment down we  
was to get out agai  
-hole went stragg  
down, so suddenly th  
fore she found hers  
well was very deep  
nt down to look at  
she tried to look  
ark to see anythin  
at they were filled  
aps and pictures h  
she passed; it was  
ment it was empty  
so managed to put  
ught Alice to herse  
down stairs! How t  
ing about it, even i  
)

vn, down, Would th  
fallen by this time?  
of the earth, Let  
or, you see, Alice  
room, and the  
f her knowledge, a  
o say it over) '—  
hat Latitude or L  
vas, or Longitude

she began again, ' /  
It'll seem to come  
! The Antipathies,  
this time, as it did  
what the name of t  
and of  
er was  
se of a  
ot day  
king a  
laisses,  
VERY  
I shall  
at she  
d); but  
ET, and  
across  
her a  
ty, she  
p down

Alice  
sittin  
havin  
had p  
read  
convi  
of a  
pictu  
So sh  
(as v  
made her feel very sleepy and stupid),  
whether the pleasure of making a  
daisy-chain would be worth the trouble  
of getting up and picking the daisies,

Alice was beginning to get very tired of sitting by her sister on the  
bank, and of having nothing to do: once or twice she had peeped  
into the book her sister was reading, but it had no pictures or  
conversations in it. 'and what is the use of a book,' thought Alice

when the Rabbit actually TOOK A WATCH OUT OF ITS WAISTCOAT  
looked at it, and then hurried on, Alice started to her feet, for it  
her mind that she had never before seen a rabbit wi  
waistcoat-pocket, or a watch to take out of it, and bounding with  
ran across the field after it, and fortunately was just in time to se

ever once consider

I for some way, an  
moment to think a  
very deep well.  
lowly, for she had  
nder what was go  
t what she was cor  
d at the sides of  
nd book-shelves; f  
took down a jar fr  
MARMALADE', bu  
o drop the jar for  
cupboards as she fr  
ll as this, I shall th  
nk me at home! W  
of the house! (W

e to an end! 'I won  
must be getting sc  
d be four thousand  
things of this sort  
a VERY good op  
to listen to her, st  
the right distanc  
t to?' (Alice had  
t they were nice g

fall right THROU  
ople that walk wi  
is rather glad ther  
right word) '—but  
know, Please, Ma'a

et in a mome  
' was anothe  
g down it. Th  
and was just  
iskers, how I  
rner, but the  
n hall, which

ked; and wh  
ying every de  
er to get out  
made of soli  
lice's first t  
but, alas! eit  
ny rate it w  
she came up  
a little doo  
the lock, and

I passage, ne  
the passage i  
made her feel very sleepy and stupid),  
whether the pleasure of making a  
daisy-chain would be worth the trouble  
of getting up and picking the daisies,

## moneyトピックス 18歳から“大人”に！何が変わる？

2022年4月より成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられます。実は世界的にも、成年年齢を18歳とするのが主流なんです。

では、今回の見直しによって何が変わり、私たちの暮らしにどう影響するのでしょうか。

民法改正により、2022年4月1日時点で18歳、19歳に達している方は、その日から新成人になります。成年に達すると親の同意がなくても自分の意思で様々な契約が出来るようになります。

| 親の同意がなくても出来るようになること                                            | 20歳にならないと出来ないこと                                               |
|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 携帯電話の契約<br>ローンを組む<br>クレジットカードを作る<br>ひとり暮らしの部屋を借りる<br>結婚する etc. | 飲酒をする<br>喫煙をする<br>競馬・競輪・競艇などの券を買う<br>養子を迎える<br>国民年金の加入義務 etc. |

色々な契約が出来るようになる一方で、その契約に対して責任を負うのも自分自身になります。安易に契約を交わしてトラブルに巻き込まれてしまう可能性もゼロではありません。わが家の金銭教育は出来るだけ早い段階から始めていきましょう。(仁賀みさ子)



## セイノタケシの イチオシ 京都グルメ探訪

コロナ感染拡大も落ち着いてきて、長く続いた飲食店の時短営業も昨年10月  
によるやく解除、ぼちぼち家中(ウチナカ)から街中(マチナカ)へ、と思われた  
皆さんにおすすめしたいのが、四条河原町から一筋上がって東へ50m先の  
「お野菜とワイン 五十松」さん。



丹波しめじと豚トロのレモンアヒージョ  
おすすめ赤ワインとあうあう！



住山店長(中央左)、五十松社長(中央右)  
とスタッフの皆さん

### お野菜とワイン 五十松

〒604-8026 京都市中京区米屋町384

TEL : 075-255-1239

<http://isozumi.jp/isomatsu/>

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたガイドライン(指針)を遵守しています。

向日市にある自家農園で元気に育った朝摘み野菜  
と美味しいワインとのマリアージュ、新鮮野菜の  
甘みと厳選されたワインの酸味が絶妙。スタッフ  
の皆さんに聞いてみてください、AIアプリなんか  
に負けないマッチング力で最強のお料理とワイン  
をおすすめしてもらえて、肩肘張らずに気軽に楽  
しめます。女子占有率高めのお店ですが、もちろん  
男子好みのガッツリ食べられるメニューも豊富。  
大切なあの人、久しぶりに会う仲間や遠方からの  
お客様にもきっと喜んでもらえるお店です。人気店  
なので早めのご予約を！ (情野剛)

## オヤコdeつくってみよう！ なめらか蒸しプリン

### 材料 (カップ4個分)

|        |       |
|--------|-------|
| 【カラメル】 |       |
| 砂糖     | 大さじ3  |
| 水      | 大さじ1  |
| お湯     | 小さじ1  |
| 【プリン液】 |       |
| 牛乳     | 300ml |
| 卵      | 2個    |
| 砂糖     | 大さじ2  |

### 作り方

#### 【カラメル】

小鍋に砂糖と水を入れて火にかけ、時々鍋を揺すり  
ながら砂糖を溶かし、カラメル色になったら弱火  
にし、お湯を加え、カップに分ける。

#### 【プリン液】

- (1)牛乳をレンジで600W30秒加熱する。
- (2)卵と砂糖をよく混ぜたら、牛乳も入れて混ぜ、  
茶こしでこしながらカップへ入れ、アルミホイルで  
蓋をする。
- (3)フライパンに布巾をのせ、その上に(2)のをのせたら  
カップの2/3程度の高さまでお湯を注ぎ入れる。
- (4)蓋をして弱火で15分加熱→その後火を消して  
10分放置し、余熱で火を通す。冷蔵庫で冷やして  
完成。

### ポイント

カラメルを作る際、お湯を入れるとはおやすいので  
注意してください。(本山愛子)

# STAFF ROOM

## かわいい思い違い・言い間違い



子供の頃、駐車場の「空」の文字を見て、「ソラさんっていう人が沢山いるんだね」と言い、父に大笑いされました。今でも両親は、はっきりと覚えていました(笑)。 **古東裕康**

子供の頃、母がガソリンスタンドで「レギュラー満タンで！」と言うのを聞き、「レギュラー」って、常連さんしか使えない特別な注文方法だと思い込んでいました(笑)。 **仁賀みさ子**

昨年2月に開催された「京都おんらいんマラソン」を「京都おいらんマラソン」と勘違いしてランニング仲間に発信し、みんなに大笑いされてしまいました。 **岩城輝和**

母(息子が)廃油を扱う会社から誘われたんやて」娘「すごいやん」半年後、娘「今頃テレビ出てたかもな」母「??」娘「えー！俳優って言ったやん！芸能事務所と思ってたわ！」 **稲場敏子**

「パパ、これ“ラ”って書いた?」「それ…“う”」大人になれば字は綺麗に書けるという過去の可愛い?思い違いのツケがきた。息子の通う習字教室私も行こうかな。 **堀内祐希**

電車が車より速い事を小学校高学年になって知りました。私にとっての「電車」は地元の単線ディーゼル列車。乗り遅れても車で次の駅に先回り出来ていたんです(笑)。 **金田三鈴**

小さい頃、お出かけといえば百貨店。母「今日タカシマヤ行くでえ」と言われ、私「タカマシヤ行く～」とずっと言い間違い。頭では「高島屋」と言ってるつもり(笑)。 **清水佳代**

高校野球の甲子園、試合開始の「あーーーーー」は人が言ってると思っていて、すごい肺活量と感心していました。が違うことに大人になって知りました。 **嵯峨根美幸**

大学卒業後、旅行会社「東武トラベル」に入社。電話で「はい。東武トラベルです」とよく言い間違いをしました。旅行には確かに「トラベル」が多いですが…。 **水口一弘**

経絡秘孔(by北斗の拳)というのは本当に存在して、マッサージ師の人を決して敵にしたいけない、そんな風に思っていました。中三の時、誤りに気付きました。 **速見淳**

息子「給食の“ちんぴらごぼう”美味しいねん」私「いや、違うやろ。“きんぴらごぼう”やろ！」息子「そうなん?ちんぴらやと思ってた～」息子君小学6年生です… **上城戸アンナ**

子供の頃、『ゲゲゲの鬼太郎』のことを『ゲゲゲのゲ太郎』だと思っていました。下駄をはいていたし、目玉親父も「おい、ゲタロウ!」と呼んでいるものだと。 **鈴木京子**

4歳の息子が昔からBMWのことを「ビーブル・バーブル♪」ブロッコリーを「プロゴッチ♪」と、言い間違いのまま、言い方があまりにも可愛いのので修正せずに今に至る(笑)。 **情野剛**

私「衣替えしない?」息子「え!子ども変え?」「他の家の子どもと交換するの?違う子かわいがらなideね」季節変わりの恒例行事がちょっと怖いことに(笑)。 **若林香**

汚職事件の事を「お食事券」と思い込んでいた私。ニュースを見るたびに「捕まるほどの凄い食事とは!?!」と想像を膨らませてお腹を空かせておりました(笑)。 **野崎泰子**

“すっぱい”を“しょっぱい”となぜか言う息子。この間もレモンを食べて、“しょっぱーーーーい!!”と。いつ気づいてくれるかな…(笑)。 **猪原明子**

病院の先生の聴診器は、心の中で考えていることまで聞き取られると思い、無心になるよう意識して心がけていたのは私だけでしょうか?今でもその癖は抜けません。 **井上ゆかり**

七夕、彦星と織姫が1年に1度会える日。大学時代まで、彦星(わし座アルタイル)と織姫(こと座ベガ)の星が本当に動くと思っていました。天体観測して愕然。 **出水和葉**

眠る時も抱いていたぬいぐるみ。母に「頭の上に置いておいたら?」と言われ、落とさないよう慎重に自分の額にのせた当時5歳の私。お母さん、枕元って言ってよ。 **中川あゆ美**

高校生の頃まで「ハエ」の事を「セミ」と無意識に言い間違える癖がどうしても直せなく、よく友人を驚かせ、怒られたことをセミの季節になると思い出します。 **坂本咲里**

我が子が幼い頃、駅のアナウンスで、「電車は10両でまいります」と聞くと、「1、2、3…」とカウントしていました。10両と10秒の勘違い。意外と多いみたいです。 **石原敦子**

かわいいキャラクターに少々疎い自分。サンリオの「シナモロール」を最近まで「シナモンロール」、そしてウサギの女の子だと思っていました。犬の男の子だった…。 **辻川雅美**

3人の子育て奮闘中の頃、1人呼ぶのに言い間違えて結局3人分の名前を言って全員キョトン…でまた呼び直し。そのうちスルーされる始末。 **関章子**

娘が喋り始めた頃、犬と猫どちらを見ても「わんわん」と呼んでいました。確かに、小さな娘にとってはどちらも同じ様な生き物に見えるのだなと微笑ましかったです。 **比嘉志織**

息子から見れば叔母にあたる私の二人の妹達。この順序(次女・三女)を間違っていました。どうして?と聞くと『背の順』との答え。なるほど、大きい方がお姉さんを見たか! **若林ます江**

家の近所で売り出されていた新築一戸建て。息子が値段を見て「お年玉で買えるやん!」と一言。“万”が抜けていたら、お母さんもうれしいよ。 **田中裕子**

夏にオリンピック女子卓球を観戦していた時。「中国、粘りっ気あるなあ」と娘。「それ、粘り強さやん!」と応援忘れて2人で爆笑。今でも卓球を観ると思ひ出します。 **本山愛子**



株式会社ウェイグッド  
ウェイグッドお客様センター ☎ 0120-499-001



◀住所変更のお手続き、  
コンサル希望のご連絡  
などはこちらから